



副所長・評議員

# 川北 稔 (かわきたみのる) KAWAKITA, Minoru

生 年：1940年（昭和15年）  
 専攻分野：イギリス近世史・世界システム論

## 学 歴

1963年3月 京都大学 文学部西洋史学科卒業  
 1967年3月 京都大学大学院 文学研究科博士課程中退  
 1983年 大阪大学 文学博士

## 職 歴

1969年4月 大阪大学文学部助手  
 1969年4月 大阪女子大学学芸学部社会福祉学科講師  
 1970年4月 同助教授  
 1976年4月 大阪大学文学部助教授  
 1987年4月 同教授  
 1997年8月～1999年7月 同大学院文学研究科長・学部長  
 2000年4月～2004年3月 同附属図書館長・総長補佐  
 2004年3月 大阪大学を定年退職 4月大阪大学名誉教授  
 2004年4月 名古屋外国語大学教授・大学院研究科長  
 2004年4月～2006年3月 国際高等研究所フェロー招へい  
 2005年4月～ 京都産業大学客員教授  
 2009年4月 財団法人国際高等研究所 副所長 ～ 現在に至る

## 学会活動等

2001年 ～2004年 日本西洋史学会代表  
 1998年 ～ Fellow of the Royal Historical Society  
 2006年9月～2007年9月 文部科学省文化審議会委員(文化功労者選考分科会)  
 現在 人間文化研究機構教育研究評議員、神戸市外国語大学理事

## 受 賞

1985年 東京海上各務記念賞『工業化の歴史的前提』  
 1996年 青少年読書感想文コンクール課題図書『砂糖の世界史』

## 単 著

『工業化の歴史的前提——帝国とジェントルマン』(岩波書店, 1983年)  
 『洒落者たちのイギリス史——騎士の国から紳士の国へ』(平凡社, 1986年/平凡社ライブラリー版1993年)  
 『民衆の大英帝国——近世イギリス社会とアメリカ移民』(岩波書店, 1990年/岩波現代文庫, 2008年)  
 『イギリス——繁栄のあとさき』(ダイヤモンド社, 1995年)  
 『砂糖の世界史』(岩波書店[岩波ジュニア新書], 1996年)  
 『ヨーロッパと近代世界』(放送大学教育振興会, 2001年)  
 『アメリカは誰のものか——ウェールズ王子マドックの神話』(NTT出版, 2001年)  
 『世界の食文化(17) イギリス』(農山漁村文化協会, 2006年)

## 共 著

(柴田三千雄ほか)『近代イギリス史の再検討』(御茶ノ水書房, 1972年)  
 (喜安朗)『大都会の誕生——出来事の歴史像を読む』(有斐閣, 1986年)  
 『岩波講座世界歴史』(岩波書店, 近代3, 1970年)  
 (角山栄・村岡健次)『生活の世界歴史(10) 産業革命と民衆』(河出書房新社, 1975年/河出文庫1992年)  
 (歴史学研究会編)『近代世界への道——変容と摩擦』(東京大学出版会, 1995年)  
 (加藤祐三)『世界の歴史(25) アジアと欧米世界』(中央公論社, 1998年)  
 (重松信司 ほか)『新詳 世界史B』(帝国書院, 2008年) ( )は共著者

## 編 著

『「非労働時間」の生活史——英国風ライフ・スタイルの誕生』(リプロポート, 1987年)  
 『歴史学事典』(弘文堂, 1994—2009年, 全15巻)  
 『ヨーロッパと近代世界』(放送大学教育振興会, 1997年)  
 『岩波講座世界歴史』(岩波書店, 全29巻, 1997—2000年)  
 『イギリス史』(山川出版社, 1998年)  
 『ウォーラーステイン』(講談社, 2001年)  
 『結社のイギリス史——クラブから帝国まで』(山川出版社, 2005年)

## 共 編 著

(角山栄)『講座西洋経済史』I・II (同文館, 1979年)  
(角山栄)『路地裏の大英帝国——イギリス都市生活史』(平凡社, 1982年/平凡社ライブラリー版2001年)  
(村岡健次)『イギリス近代史——宗教改革から現代まで』(ミネルヴァ書房, 1986年)  
(村岡健次ほか)『ジェントルマン・その周辺とイギリス近代』(ミネルヴァ書房, 1995年)  
(鈴木正幸)『シンポジウム歴史学と現在』(柏書房, 1995年)  
(竹岡敬温)『社会史への途』(有斐閣, 1995年)  
(望田幸男ほか)『西洋近現代史研究入門』(名古屋大学出版会, 1999年)  
(指昭博)『周縁からのまなざし——もうひとつのイギリス近代』(山川出版社, 2000年)  
(濱下武志)『地域の世界史(11) 支配の地域史』(山川出版社, 2000年)  
(木畑洋一)『イギリスの歴史——帝国=コモンウェルスのあゆみ』(有斐閣, 2000年)  
(藤川隆男)『空間のイギリス史』(山川出版社, 2005年)

( )は共編著者

## 訳 書

H・バターフィールド『ウイッグ史観批判』(共訳・未来社, 1967年)  
H・J・ハバカク『18世紀イギリスにおける農業問題』(未来社, 1967年)  
J・H・エリオット『旧世界と新世界1492-1650』(共訳・岩波書店, 1975年)  
E・ウィリアムズ『コロンブスからカストロまで——カリブ海域史, 1492-1969 (1・2)』  
(岩波書店, 1977年/モダン・クラシックス版, 2000年)  
I・ウォーラステイン『近代世界システム——農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立 (1・2)』  
(岩波書店, 1981年/モダン・クラシックス版, 2000年)  
I・ウォーラステイン『史的システムとしての資本主義』(岩波書店, 1985年/増補版, 1997年)  
P・ラスレット『われら失いし世界——近代イギリス社会史』(共訳・三嶺書房, 1986年)  
S・W・ミンツ『甘さと権力——砂糖が語る近代史』(共訳・平凡社, 1988年)  
D・ヴィンセント『パンと知識と解放と——19世紀イギリス労働者階級の自叙伝を読む』(共訳・岩波書店, 1991年)  
A・L・ベア, R・フィンレイ編『メトロポリス・ロンドンの成立——1500年から1700年まで』(三嶺書房, 1992年)  
I・ウォーラステイン『近代世界システム——重商主義と「ヨーロッパ世界経済」の凝集 1600-1750』  
(名古屋大学出版会, 1993年)  
ジョン・ハワード『18世紀ヨーロッパ監獄事情』(岩波書店 [岩波文庫], 1994年)  
A・J・クリストファー『景観の大英帝国——絶頂期の帝国システム』(三嶺書房, 1995年)  
I・ウォーラステイン『近代世界システム——大西洋革命の時代 1730-1840s』(名古屋大学出版会, 1997年)  
I・ウォーラステイン『史的システムとしての資本主義 [新版]』(岩波書店, 1997年)  
リンダ・コリー『イギリス国民の誕生』(名古屋大学出版会, 2000年)  
アンドリュー・ローゼン『現代イギリス社会史 1950-2000』(岩波書店, 2005年)  
リチャード・イングリッシュ, マイケル・ケニー編『経済衰退の歴史学——イギリス衰退論争の諸相』  
(ミネルヴァ書房, 2008年)